

プレスリリース
報道関係各位

【研究レポート発行のお知らせ】

『ドイツのエネルギー転換 10のQ&Aー日本への教訓』

公益財団法人 自然エネルギー財団と、ドイツのシンクタンク、アゴラ・エナジーヴェンデ(Agora Energiewende)は、この度『ドイツのエネルギー転換 10のQ&Aー日本への教訓』を共同執筆いたしました。本レポートを通じて、ドイツのエネルギー転換の実態についての理解をより深め、日本で脱炭素社会を実現するための議論を活性化する一助となることを期待しています。

【概要】 ドイツは、原子力や化石燃料から脱却し、自然エネルギーへと移行する「エネルギー転換(Energiewende)」を早くから進めています。ドイツは電力消費量に占める自然エネルギー比率を2025年までに40-45%、2035年までに55-60%、2050年までに少なくとも80%に高めるという目標を掲げています。2016年には、すでに自然エネルギーがドイツの電力消費量の32.3%を供給しました。ドイツのエネルギー転換のスピードと規模は他に類を見ないため、欧州内外で幅広く注目を集め議論的となっています。一方で、日本では、ドイツのエネルギー転換について懐疑的な見解もみられます。

本研究レポートは、最新で正確な情報を示すことを目的とし、日本でよく問われるドイツのエネルギー政策に関する代表的な10項目を選んでQ&A方式にまとめたものです。日本は、ドイツが自然エネルギーを導入してきた経験から、多くの教訓を学べるはずで

<目次>

- Q1: ドイツのエネルギー転換って、何ですか？
- Q2: ドイツのエネルギー転換はうまくいっていますか？
- Q3: ドイツは脱原発といながら、近隣諸国から原発や石炭火力の電力を輸入しているのでは？
- Q4: ドイツでは、自然エネルギー拡大によって家庭用電気料金が上昇してきたのでは？
- Q5: ドイツでは石炭火力発電が増えて、CO2排出量の削減ができていないのでは？
- Q6: ドイツのエネルギー転換が国内経済に与えた影響は？
- Q7: ドイツでは、自然エネルギーの大量導入によって電力供給が不安定なのは？
- Q8: ドイツの市民や経済界はエネルギー転換を支持しているのでしょうか？
- Q9: ドイツの南北送電網拡張プロジェクトの進捗状況は？
- Q10: ドイツはなぜ再生可能エネルギー法を見直し、入札制度を導入したのですか？

PDF版全文は、自然エネルギー財団ウェブサイトにて公開しています。

http://renewable-ei.org/activities/reports_20170301.php

【追加情報】

なお、共同執筆者のアゴラ・エナジーヴェンデのデミトリ・ペシア氏は3月上旬に来日し、自然エネルギー財団主催の国際シンポジウム「REvision2017」、および本研究レポートの公開を記念してドイツ日本研究所との共催イベントに登壇します。詳細は別紙をご参照ください。取材などご要望がある場合は随時ご相談を受け付けております。

■自然エネルギー財団について

自然エネルギー財団は、東日本大震災および福島第一原子力発電所の事故を受けて、孫正義(ソフトバンクグループ代表)を設立者・会長として2011年8月に設立されました。安心・安全で豊かな社会の実現には自然エネルギーの普及が不可欠であるという信念から、自然エネルギーを基盤とした社会を構築することを目的として活動しています。

■アゴラ・エナジーヴェンデについて

ドイツのシンクタンク・政策研究所。ドイツ、ヨーロッパ、そして世界中のエネルギー転換を成功させるため、科学的な根拠に基づいた方法で、研究・政策提言をしています。また、公共政策・市民組織・企業・学術関係者と協働し、エネルギー転換の課題や政策取り組みについての共通理解を築く活動にも従事しています。アゴラ・エナジーヴェンデは、メルカトル財団と欧州気候基金の助成を受けています。自然エネルギー財団とは2016年より連携を開始し、ドイツと日本のエネルギー転換に関する専門知識や情報交換の促進を図っています。

【別紙】

■開催日・会場:2017年3月8日(水)・イイノホール
国際シンポジウム
REvision2017 自然エネルギーが切り拓く未来

日時: 2017年3月8日(水)
10:00~18:00(開場 9:30) ※日英同時通訳あり
会場: イイノホール
東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビル 4F
主催: 公益財団法人 自然エネルギー財団
参加登録: 参加費無料、要事前申込
申し込み先: 自然エネルギー財団 Email: press_rei@renewable-ei.org
プログラム: http://www.renewable-ei.org/activities/events_20170308.php

■開催日・会場:2017年3月9日(木)・ドイツ日本研究所(DIJ)
自然エネルギー財団・ドイツ日本研究所共催イベント
エネルギー転換 (Energiewende) — ドイツと日本のエネルギー転換の未来

日時: 2017年3月9日(木)
18:30-20:30(イベント後、ビュッフェあり) ※日英通訳あり
会場: ドイツ日本研究所(DIJ)
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 7-1 上智紀尾井坂ビル 2F
主催: 公益財団法人 自然エネルギー財団、ドイツ日本研究所(DIJ)
参加登録: 参加費無料、要事前申込
申し込み先: ドイツ日本研究所(DIJ) Email: forum@dijtokyo.org
TEL: 03 3222 5198, FAX: 03 3222 5420



<プロフィール>

ディミトリ・ペシア(Dimitri Pescia)

ドイツ・アゴラエネルギーヴェンデ

欧州エネルギー協カシニア・アソシエイト

ドイツにおける電力部門のエネルギー転換を専門分野とする有カシンクタンク、アゴラ・エネルギーヴェンデにおいてシニア・アソシエイトを務める。これに先立ち 2008 年から 2013 年まで、在ベルリンフランス大使館に勤務。諸外国との経済ネットワークを掌握する部署、経済部においてエネルギー部門を統括し、独仏二国間の協力関係の強化を任務とし、ドイツのエネルギー、環境、天然資源政策に関してきわめて多くの研究調査を行なった。2005 年から 2007 年まで、フランス外務省において科学技術政策担当官を務め、エネルギーの有効利用、輸送、エネルギー工学関連分野を掌握。フランス語を母国語とする特徴を生かしてスイス連邦工科大学ローザンヌ校(EPFL)工学部において物理学を学び修士号を、またインペリアル・カレッジ・ロンドンにおいてインターナショナル・ディプロマを取得。

【本件に関するお問合せ先】

公益財団法人 自然エネルギー財団 広報 担当:辻本・坂上
TEL: 03-6866-1020 FAX: 03-6866-1021
Email: press_rei@renewable-ei.org